

- ◆人口:18,751人(2015.12.1現在)
- ◆面積:56.61km²
- ◆土地利用割合:約60%が森林
- ◆主な産業:環状道路供用開始によるアクセス向 上で製造業を中心に企業立地が進む
- ◆かつては中山道の宿場町として栄えた



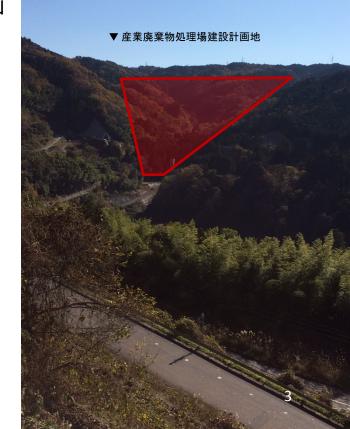


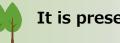


御嵩町民の環境に対する思い…

- ◆1990年代に起きた 産業廃棄物処理場建設問題に端を発する
- ◆町東部の山中に、当時、東洋一の 産業廃棄物処理施設を建設する計画
- ◆町長襲撃事件にまで進展(1996年)
- ◆住民投票の末、 建設反対の意向を住民が示した (1997年)







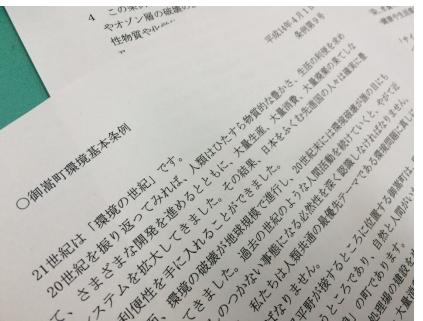




御嵩町民の環境に対する思い…

- ◆産業廃棄物処理場建設問題を契機に 住民が自然環境の保全に立ち上がる
- ◆町環境基本条例を制定(2002年)
- ◆町、事業者、町民が一体となって 良好な環境の保全と 快適な環境の創造に取り組む

▼ 御嵩町環境基本条例





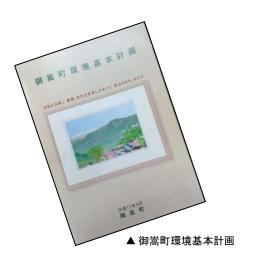




地球環境問題にチャレンジ!

- ◆町環境基本計画を策定(2005年)
- ◆環境目標
 - ①豊かな自然をはぐくむまち
 - ②安心とやすらぎがあるまち
 - ③地球環境にやさしいまち
 - 4 環境について考え行動するまち





◆自然環境の保全とともに地球環境問題にもチャレンジ!









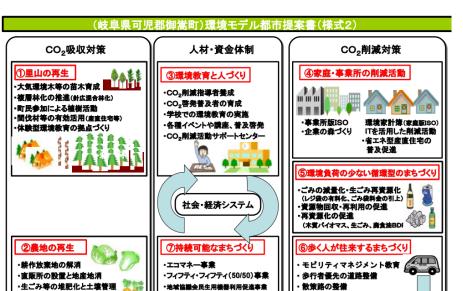


菜の花による多毛作化

地球環境問題にチャレンジ!

◆地球環境問題は本町地域の問題であるとの認識に立ち 環境負荷が小さい循環型社会の形成をめざす! (町環境基本計画より)





駅周辺の拠点づくり

- ◆温室効果ガスの大幅な削減など低炭素社会の 実現に向けた取り組みである環境モデル都市選 定にチャレンジ! (2008年)
- ◆自然と人間が共生する新たな循環型地域社会 の形成を掲げ提案。
- ◆しかし、落選...。
- ◆内閣府創設の低炭 素都市推進協議会 に幹事自治体として 参画



▲ 環境モデル都市行動計画提案書より一部抜粋

低炭素控除の創設新たな排出権取引の仕組み環境推進基金の設立





地球環境問題にチャレンジ!

◆地球環境問題への取り組みは継続しつつ、内閣府より環境モデル 都市の追加募集を受け<u>再度チャレンジ!</u>

(2012年)



▼ 環境モデル都市選定証を坂本総務副大臣(当時)より受ける渡邊町長



- ◆地域資源(森林、公共交通、再生可能エネルギー等)を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」の実現を掲げ提案。
- ◆森林マネジメント、交通対策を中心に実現可能性 の高い提案と評価される。
- ◆2013.3.15 内閣府より選定される
- ◆御嵩町環境モデル都市行動計画を策定 (2014年)





▶御嵩町環境モデル都市の取り組みの柱は5つ



御嵩町が目指す"環境モデル都市像" 地域資源を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」



②公共交通の 再生と次世 代自動車へ の転換

- 4分散型エネ ルギーへの シフト
- ⑤人づくり・場

③家庭•事業

活動

所での削減

づくりの推進







◆御嵩町環境モデル都市の取り組みの柱は5つ

御嵩町が目指す"環境モデル都市像" 地域資源を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」





排出量(**5%**) 約**0.8**万 t -Ço2



・2018年度(3年後) までに <mark>10%</mark> 削減!



◆COP21 日本の削減目標 · 2030年度(15年後)

までに 20% 削減!

"御嵩町の温室効果ガス排出量削減目標"

・2030年度(15年後)

までに 26% 削減!

※2013年度比

・2050年度(35年後)

までに 39% 削減!

3年度比 ※いずれも2009年度比

9







▶御嵩町環境モデル都市の取り組みの柱は5つ

御嵩町が目指す"環境モデル都市像" 地域資源を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」



◆全国2例目となる森林経営信託方式を柱とした持続可能なビジネスモデルとCO2吸収源の拡大









◆御嵩町環境モデル都市の取り組みの柱は5つ

御嵩町が目指す"環境モデル都市像"地域資源を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」

②公共交通の 再生と次世 代自動車へ の転換

◆地方鉄道やコミュニティバスの利用促進と電気自動車等への転換を促進しCO2排出量を削減









◆御嵩町環境モデル都市の取り組みの柱は5つ

御嵩町が目指す"環境モデル都市像"地域資源を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」

③家庭·事業 所での削減 活動

◆グリーンカーテンや間伐材を使った薪ストーブを利用する取り組みでCO2排出量を削減















▶御嵩町環境モデル都市の取り組みの柱は5つ

御嵩町が目指す"環境モデル都市像" 地域資源を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」



◆亜炭鉱廃坑の大規模陥没も想定した自給エネルギー創出によるCO2排出量を削減

▼ 東日本大震災の被災状況

▼ 御嵩町の亜炭鉱陥没被害状況





▼「自立型避難所」のイメージ

◆LPガスバルク

13







◆御嵩町環境モデル都市の取り組みの柱は5つ

御嵩町が目指す"環境モデル都市像"地域資源を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」



◆環境教育を進めることで住民の環境意識を高め、地球温暖化防止への取り組みを推進する













◆御嵩町環境モデル都市の取り組みの柱は5つ

御嵩町が目指す"環境モデル都市像"地域資源を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」



- ◆行動計画の取り組みを始めて1年。取り組み意識の高まりはまだ見られない...。
- ◆取り組みの一つ一つは非常に地道なもの。サポーター(仲間)を増やしていくことが課題。
- ◆この環境を未来へつなげるために一歩一歩進んでいきたい。

私たちのために、そして未来ある子どもたちのために…。





